

新型コロナウイルス感染症 発生状況等について

令和2年1月16日に国内で初めて患者が報告された新型コロナウイルス感染症は、様々な変異株が発生し、令和4年3月以降はオミクロン株が9割以上となっている。(令和4年12月9日現在)

昨年度同様、感染拡大に伴い変異株の特性に合った施策の方向性が国から示され、中でも令和4年9月26日から全数把握の見直しが実施され、保健所では重症化リスクのある高齢者や既往歴のある陽性者、ハイリスク施設の感染拡大防止等の対応を重点的に行っている。

発生動向としては、国内で第6波(1月～5月)、7波(7月～9月)と感染拡大が起こり、中でも第7波は7月下旬から急激に増加し、長生地域でも連日200名～400名の新規発生届が提出されるという状況が8月下旬まで続き、自宅療養者も1,400名～1,500名を超える状況となった。入院患者の増加や高齢者施設でのクラスター発生も頻発し、保健所業務がひっ迫した状況になったため、他所属からの応援職員や派遣会社から人材の増員が行われた。

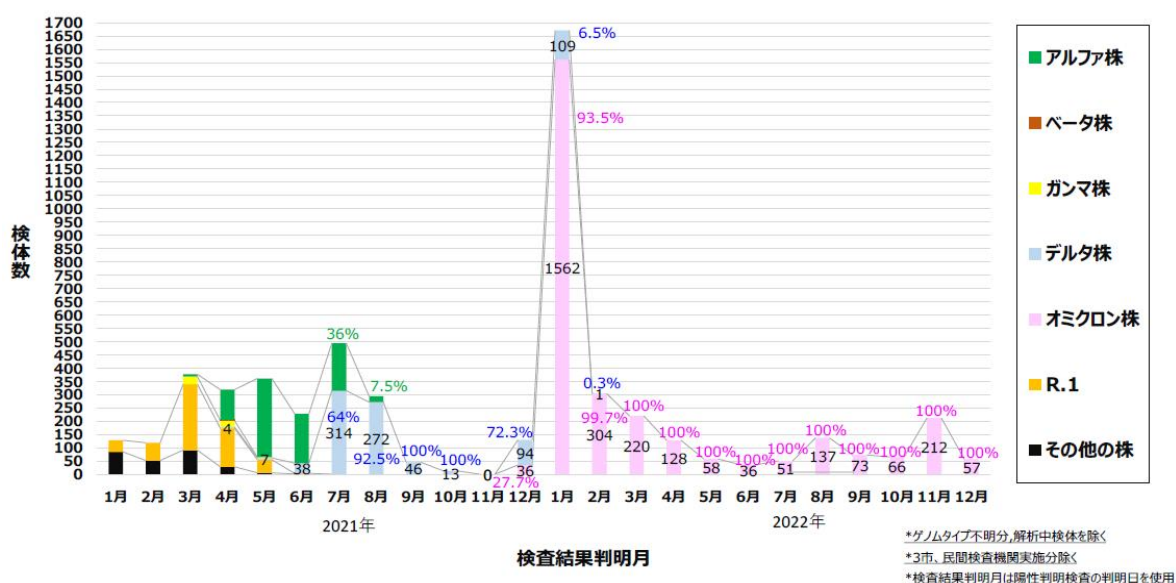
さらに、FUC(千葉県自宅療養者フォローアップセンター)(※1)、MCC(千葉県医療調整センター)(※2)が設置され、保健所業務負担軽減に向けた対策がとられた。

(※1)千葉県自宅療養者フォローアップセンター(FUC)とは、自宅療養者の相談窓口として令和3年9月1日に千葉県が設置し、令和4年5月からは健康観察等の業務も併せて委託業者が実施する体制

(※2)千葉県医療調整センター(MCC)とは、令和4年12月5日に千葉県が設置した自宅療養者の入院調整、受診調整等の業務を委託業者が実施する体制

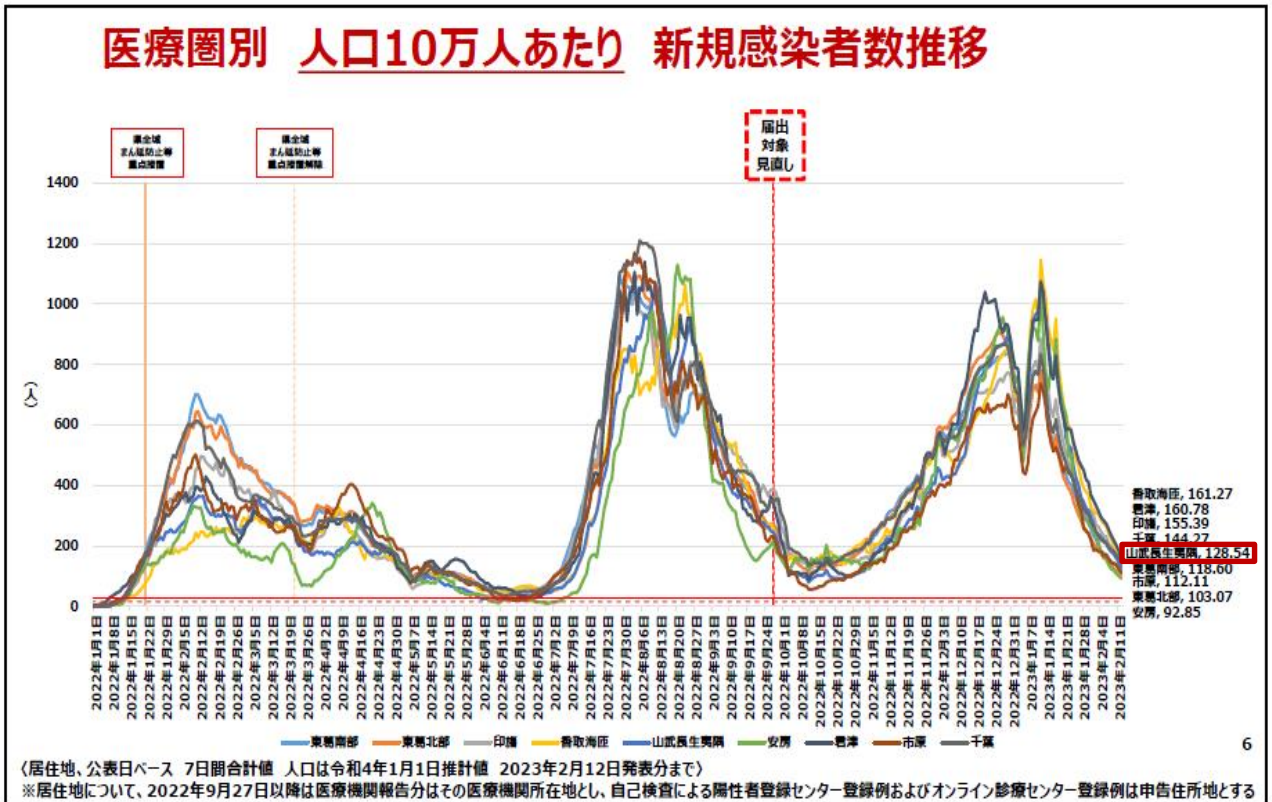
(1) 県内の変異株の発生状況

【月別】2021年1月～2022年12月9日までのCOVID-19陽性検体の変異状況の推移(N=5523)



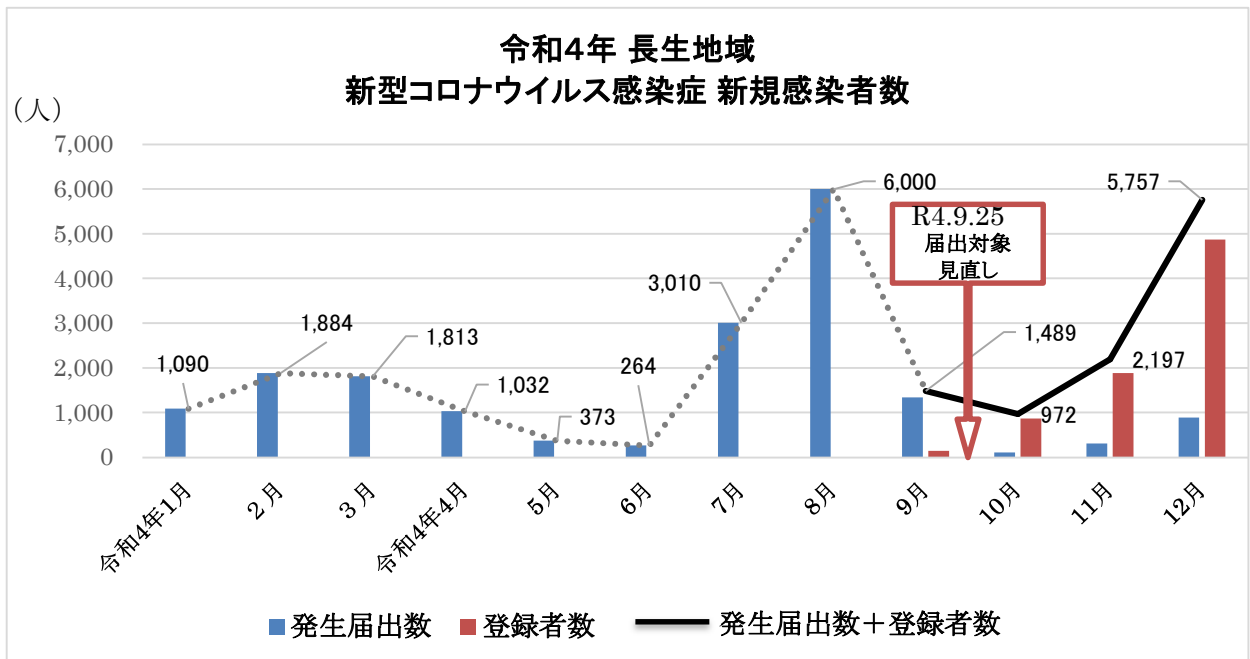
出典元：千葉県感染症情報センター

(2) 2次医療圏別人口10万人あたり新規感染者数推移



出典元:令和5年2月13日重点医療機関等WEB会議資料(千葉県疾病対策課)

(3) 令和4年 長生地域 新規感染者数



【令和5年2月 長生保健所調べ】